

建学の精神

自動車整備について専修学校教育を行い、その応用力と優れた人格とを涵養し、もって自動車整備業界に有用な実践力に富む人材を育成する事によって交通産業の健全な発展を期する。

教育方針

より高い人格の形成
練磨された技能
お客様に信頼と満足を提供できる人材の育成

成績の評価などについて

卒業の認定方針

卒業者には整備士としての人格と、技能を修得しており、お客様に信頼と満足を提供できる人材であることが望まれる。客観的な卒業規準としては学則と細則により卒業試験の学科及び実技試験の全教科において可以上の成績を修めたものに対して学校長が卒業を認める。

成績評価の方法

各科目について学期末試験（前期末試験及び後期末試験）における学科科目及び実習科目の履修範囲について評価を行う。

評価基準は概ね、100～90点：優（3ポイント）、89～70点：良（2ポイント）、69～60点：可（1ポイント）、59点以下：不可（0ポイント）とし各教科で取得したポイントを合計した値で評価する。

年間の評価方法は、年間ポイント（前期ポイントと後期ポイントを合計した値）で評価する。さらに、年間ポイントよりA～Eの段階に分ける。

段階の決定は次の式により指標数値を算出し、その数値が100～87はA段階、86～73はB段階、72～59はC段階、58～45はD段階、44以下はE段階とする、ただし不可の教科が有る場合は点数に関わらずE段階とする。

$$\text{指標数値} = \text{年間ポイント} \div \frac{\text{実施科目数} \times 3}{100}$$

※指標数値の小数点以下は切り捨てる。